食品ロス削減月間キャンペーン業務委託 公募型プロポーザルに係る質問と回答

No	質 問	回 答
1	<過去の取り組み実績や効果について> これまでの啓発活動が食品ロス削減にどのような効果が あったのか	本キャンペーンは啓発事業であることから効果の測定は難 しいものがありますが、本市が毎年度実施している食品ロス 実態調査では、一人1日あたりの食品ロス発生量は減少傾 向にあります。減少は、市民の削減意識向上などによるもの と考えていますが、本キャンペーンも、本市における食品ロ ス削減の機運を高めることに繋がっていると捉えています。
2	<過去の取り組み実績や効果について> プレゼントキャンペーンへの参加者数とページへのアクセス 数	昨年度の応募数は911人でした。アクセス数は不明です。
3	<過去の取り組み実績や効果について> SEO対策としてどのような取り組みを行ったのか	一般的な無料のSEO対策ツールの導入・設定や文章構造を意識したHTMLの構築などの対策を行った例があります。
4	<仕様について> 複数案の提案は可能か	・2案までの提出を認めますが、キャッチコピーとデザイン (※)の組み合わせのバリエーションを変えて3案目、4案目の提案とすることは認めません。詳しくは以下の2案提案例を参考としてください。 (※)「デザイン」とは、各啓発資材(のぼり、ポスター、チラシ)の内容およびデザインです。 ・2案を提案する場合でも、企画提案に対するプレゼンテーションは10分以内で行ってください。・審査は各提案ごとに行い、評価点の高い方を提案者の評価点とします。 【2案提案例】 O認める例1 提案① キャッチコピーA + デザインA 提案② キャッチコピーA + デザインA し認める例3 提案① キャッチコピーA + デザインA と認める例3 提案② キャッチコピーB + デザインA ×認めない例 提案② キャッチコピーB + デザインA ×認めない例 提案② キャッチコピーA + デザインA と認めない例 提案② キャッチコピーA + デザインA と認めない例 提案② キャッチコピーA + デザインB と認めない例 まで、アデュピーB + デザインB と認めない例 まで、アデュピーB + デザインB と記して、アデュピーB + デザインB と記して、アディンB ・デザインB ・デザインB と記して、アディンB ・デザインB ・デザインB と記して、アディンB ・デザインB と記して、アディンB ・デザインB ・デザインB
	<クイズサイトについて> 5問全問正解者のみ応募できるシステム(不正解の時点で次の問題に進めない/最後に回答を示して全問正解の場合のみ抽選フォームに進めるなど)か、不正解があっても応募できるシステムか	全問正解者のみ応募できるシステムとしてください。
6	<クイズサイトについて> 5問全問正解者のみ応募できるシステムの場合、戻って回 答を直して進ませて良いか	問題の途中で不正解となった場合、次の問題に進めない、 もしくは進めるが最後に全ての回答を示し最初から挑戦す る、いずれでも結構ですが、応募されるかたが不便を感じな いシステムとしてください。
7	<クイズサイトについて> 不正解があっても応募できるシステムの場合を含み、複数 応募を排除するシステムが必要か(後で不正解がわかった ときに再度応募できるかなど)	複数応募を排除するシステムを必須とはしていません。